



産業廃棄物処理計画書

令和5年5月23日

埼玉県知事 大野 元裕 殿

提出者

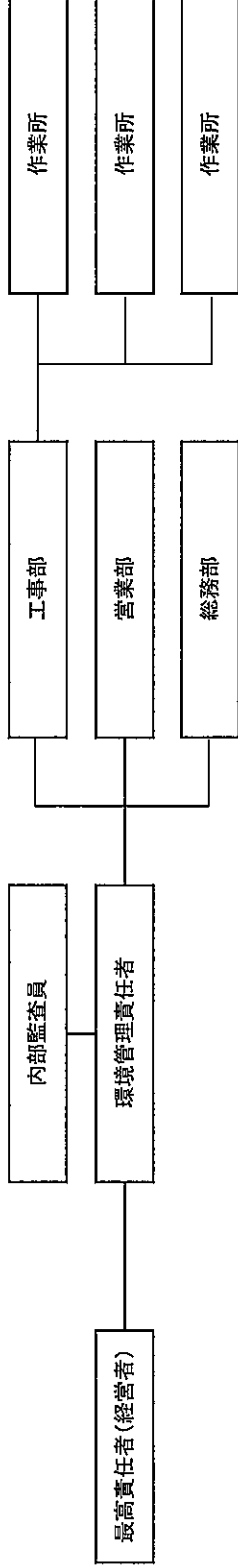
住所 埼玉県 31番地
氏名 梶山
代表
電話

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	梶山工業株式会社
事業場の所在地	埼玉県鴻巣市郷地431番地
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合建設業
② 事業の規模	前年度売上高 8.0億円
③ 従業員数	14人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

管理体制図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度(令和4年度)実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶器くず	廃プラスチック	金属くず	安定型混合廃棄物	建設汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード
排出量	5559.0t	0.0t	8.0t	0.0t	0.0t	4.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t

(これまでに実施した取組)

- ・建設汚泥は工法改善により抑制に努めている。
- ・搬入時の梱包材を極力削減するよう資材搬入業者に要請している。

①現状

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶器くず	廃プラスチック	金属くず	安定型混合廃棄物	建設汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード
排出量	5003.1t	0.0t	7.2t	0.0t	0.0t	3.6t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t

(今後実施する予定の取組)

- ・上記の取組を徹底する。

②計画

産業廃棄物の分別に関する事項

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

- ・がれき類はアスファルトとコンクリートに分別するとともに、他の廃棄物についても種類毎に分別している。

①現状

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

- ・職員全員参加の環境指導を行い分別を徹底する。
- ・環境ハートフル実施時に分別状況を確認する。

②計画

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度(令和4年度)実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶器くず	廃プラスチック	金属くず	安定型混合廃棄物	建設汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t

(これまでに実施した取組)

・実施はありません。

①現状

【目 標】

産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶器くず	廃プラスチック	金属くず	安定型混合廃棄物	建設汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t

(今後実施する予定の取組)

・実施予定はありません。

②計画

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度(令和4年度)実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶器くず	廃プラスチック	金属くず	安定型混合廃棄物	建設汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード
自ら回収を行った産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t

(これまでに実施した取組)

・実施はありません。

①現状

【目 標】

産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶器くず	廃プラスチック	金属くず	安定型混合廃棄物	建設汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード
自ら回収を行う産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t

(今後実施する予定の取組)

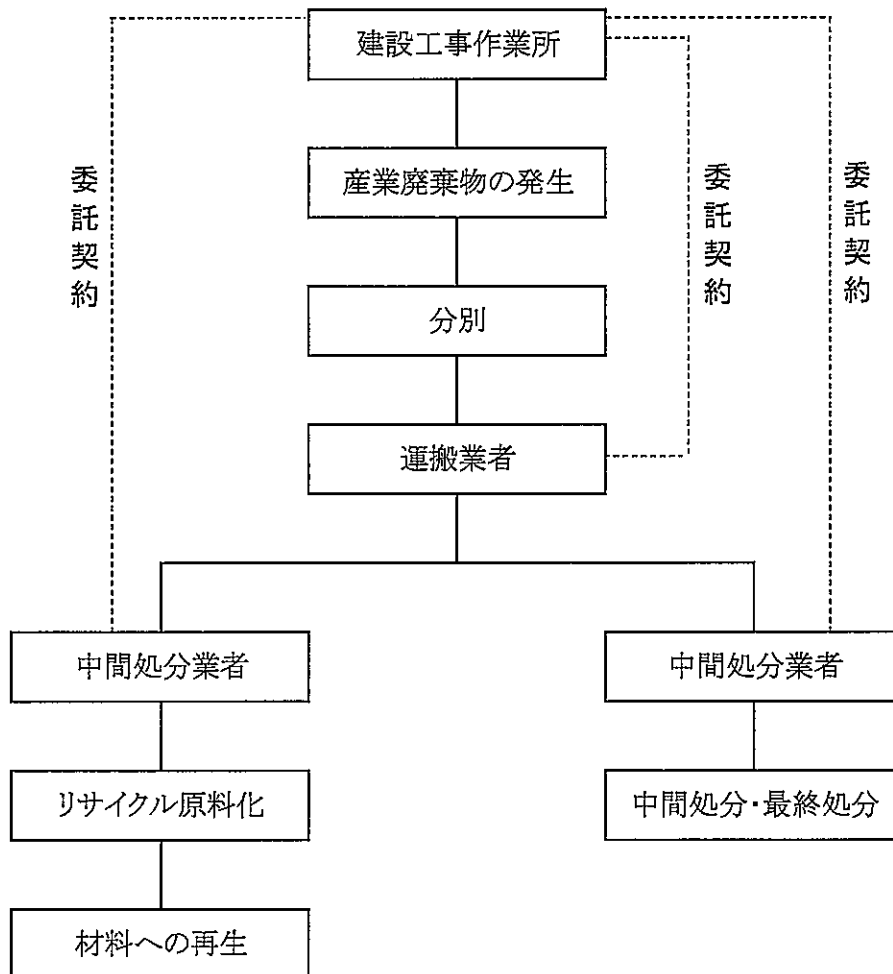
・実施予定はありません。

②計画

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項										
【前年度(令和4年度)実績】										
産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶器くず	廃プラスチック	金属くず	安定型混合廃棄物	建設汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組) ・実施はありません。	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
【目録】										
②計画	産業廃棄物の種類 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組) ・実施予定はありません。	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
【前年度(令和4年度)実績】										
産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶器くず	廃プラスチック	金属くず	安定型混合廃棄物	建設汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード
①現状	全処理委託量 優良認定処理業者への処理委託量 再生利用業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (これまでに実施した取組) ・法令遵守にて産業廃棄物処理業者と委託契約を行い適正に処理をする。	5559.0t	0.0t	8.0t	0.0t	4.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
②計画	全処理委託量 優良認定処理業者への処理委託量 再生利用業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (今後実施する予定の取組) ・再生利用業者への委託割合をできるだけ増やし、リサイクル率の向上に取り組む。	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
※事務処理欄										

産業廃棄物の処理工程

フロー図



備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。